

ドーターな団長さんを
カリオストロがえっちに
調教してあげるね☆

レオラユウキ

童貞な団長さんをカリオストロがえっちに調教
するロリオネ×ショタ系CG集
セリア付きエッチCG集
基本7枚 60P

R18
For
Adults
Only

「わーわー
団長さんって
まだどーてーさん
何でしょ☆」

「うう・・・
そ、それは」

ニヤ...

ニヤ...

ヒッヒッ

「ちやうんとお利口は
言うこと聞いてくれるんなら
カリオストロがこのちやうんくて
可愛いおまんこは
団長さんのおちんぼを挿入れて
どーてー卒業させて
あげてもいいよ?」

「ええ・・・
でも・・・」

ハア...

ハア...

「あ？ なんだ？」

この世界で一番可愛いオレ様がいいて
なめて

「……」

「ぞ、それは……」

ぞりやしてやらぬな

してやらなければ……」

オイコ……

「ぞりやそうだよね☆」

団長さんってば、カリオストロの
パンツ見ておちんぼ

膨らましちゃうてるもんね」

「うう……だうてス、スジまで
見えちゃうてるじゃないか」

「ラマ、ホラ見て

団長さんに見られてカリオストロの

おまんこ濡れてきちやっただ☆」

「んんん...

やばらエロ過ぎて

ちんぽも濡らさるへんっつーの!」

「ここに団長さんの

おちんぽ挿入してほしいよぉ!!!」

くっ...
うっ...

カリ
オス
トロ
...
...
...

んんん...
んんん...

「はあ...はあ...

ゴクリ」

「我慢しないでいいよ団長さん

団長さんもカリオストロに

おちんぽ

ハメハメしたいんでしょ?」

「カリオストロの

可愛い顔見ながら

おちんぽハメて

どーでーさん

卒業したいよね☆」

「すっ...すっ...」

ドギッ

ドギッ

ドギッ

ドギッ

「クククク...
よあし、じゃあ決まりだ
このカラダで性交するのは
初めてだからな
じっくりカラダの
変化を研究させてもらっぜ」

「あれ〜？
僕の童貞卒業って
研究のついでなの？」

おま〜ニ汁
すごい
たれてる...
ゴウ...

「あ？ こんな美少女な
オレ様と一発ヤシるんだから
別にかまわないだろ？
むしろ感謝してもらわないと
いけないな」

「あ、はい...
すみませんでした」

「いいからおちんぽ出して
団長さん☆
カリオストロ
まちきれないよあ〜
はやく団長さんと
た〜つくさん
えっちなことしたいな☆」

ハハハ

ハハハ

トド〜

ア〜

ん♡

ヒヒヒ

はあ...
おかし...

ん

「あれれ☆
団長さんのおちんぽ
皮がぶつてるよな？
ホーケーちゃん
かわいいんだわ」

「ん...ちもをうら」

「ほろほろ、逃げないで
おちんぽの皮を
ムキムキつてして
団長さんの
いっちばんえつちな所
見せてほしいな☆」

「あ、そんな、
むくって...あー」

か...
カリオストロの
あそこが...
丸見え
ハァハァ

ビクッ
ビクッ
ビクッ



「くっくっ！」

そりゃするよなるー!

なんていつたつて

世界で一番可愛い

カリオストロ様の

おまんこなんだからよー!

「ううっ・・・」

まったく目が離せなら

「ギョ」

「んっ」

「あっ」

「ギョ」

「ほっ」

「んっ」

「ホラ、団長！」

オレ様のおまんこを

舐めるように見ながら

センスリをいしても

いいんだぜ?」

「団長いっついでば

はいっついで」

おかずだつてん?」

「あぁ...!!
うう!!
カリオストロ

「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」
「びゅん」

「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」
「んっ」



「fefefer~」

「射精fefe~!!
びるびるびるびる
ザーメンで射精fefe~!!
団長さんのザーメンが
カリオストロの
おまんこにたくせん!!
かかつちやうてfefe~!!」

あーっ
あーっ
あーっ

ふっ
ふっ
ふっ

ん
ん
ん

はっ
はっ
はっ

っ
っ
っ

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

「ううあー！」

ちよつと

カリオストロ？」

「よつと

ヒビ、世界二可愛い

カリオストロに

こんなことしてもらえて

ありがたいと思えよ？」

「今から団長の

チンポをオレ様の

おまんこに

挿入れてやるんだからな」

カリオストロ

のおまんこ

あつたが

はあ

はあ

「か、カリオストロ

や、やせしくしてね？」

「何いってるんだ、

オレ様だって

このカラダでするのは

初めてなんだぞ」

「うう、カリオストロの

処女まんこなの

うれしいよあ」

「はあ、はあ...

ありがたく思えよ

それじゃ挿入れるぜ？」

「くっ、あっ…
団長のチンポが
瞳に入ってきて
あうっ」

「うっあ！ きつっ！

カリオストロのおまんこ

きゆうきゆうって

絡み付いてくっ…

処女膜破るの…

きもちすぎい

痛そうだけど、

カリオストロ大丈夫？」

んっ！

ぐっ

あっ
んっ

あう

がっ

「はあ、はあ、
これが破瓜の痛みか…
ちよつと痛いけど、
耐えられないわけじゃないな」

「はあ、はあ…

あつくておちんぼ

カリオストロの愛液で

とけちやらねっ」

処女膜っ
カリオストロの
ボクのちんぽが
やぶっちゃった
はあ…

はあーっ

キョッ
ニクッ
キョッ
ニクッ
キョッ
ニクッ
キョッ
ニクッ

「ふう……」
トロトロおまんこの
奥まで入ったぞ
どうだ？
ドーテー喪失の感想は？」

「カリオストロの
おまんこの気持ちよすぎて
お、おがしくなりそう」

子宮口……
どっかってる
うやっ……
んんん……

「ぞりやそうだが、
この最高のボディは
誰が作ったかと思ってる」

「うん、このカラダ最高だよ」

「よしよし、素直な感想だな
オレ様が腰を動かして
もっと気持ちよくしてやるから
たっぷり堪能しな」



「うっあー！」

カリオストロの
えっちなオマンコは

僕のオチンポ

たべられてる！

き、きもちいよぉー！」

「ホラホラ！

オレ様の膣内を

包茎ちゃんぽで

擦りあげてるのがおかまか？

これが女の子宮とHEMチだぞん？

どうだ？

すごい射精しちゃうぞうだぞ

あははっ」

ガッ

エッ

クッ

クッ

パン

ちゃんぽで
突いたちゃうんだ
カリオストロの
愛液どんどん
あふれちゃう
エロ...

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

「うっ、これ、これ、
気持ちよすぎ
だめだ、こんなの
すぐんぽちゃうよぉー！」

「うらぎん？ ののまま

射精せ！ オレ様の初めて

おまんこに白い種汁を

びゅーびゅー溢れるんなんらば

撒き散らっちゃうらな」

「あっ！ もう射精の...

カリオストロの膣に

ザーメン送っちゃうよー！」

ハッ

エッ

クッ

パン

んっ

「はあはあはあはあー！」

射精してるー！！

団長の濃いザーメンが
オレ様の膣内でどくどくしてー！！

「あつ、でる、とまんないー！」

すごい、カリオストロの
膣内きゅきゅうって
搾り取られるー！！

あっ♡あっ♡

すっぴん♡うっ♡

あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡
あっ♡あっ♡
あっ♡あっ♡
あっ♡あっ♡
あっ♡あっ♡
あっ♡あっ♡

はあ〜♡
まんこに♡
カリオストロの
生挿入♡

うっ♡うっ♡
あっ♡あっ♡

「はあ・・・はあ・・・
でたあ・・・
カリオストロのち
っちゃんおまんこに
いっぱい中出してちやった」

「グワッ
すごい量だ
おなかの中でザーメンが
たぶたぶいつてやがる
こんなに射精しやがって・・・
だしすぎだろ」



「じゃ、団長さん☆
こんなにたつくさん
気持ちよくなつたんだから
最初に言ったとおり
カリオストロの
言うことはちやんと
聞くんだよ!」

「どんないんらおねるん!」

フワフワ
まだだよ! ぞぞぞぞぞぞ

ハア...

ハア...

いっままで
ドクドク
してるつもり?

あっ
まだしゅりや
くえてるし
まもちいん

あっ
しゅりや
せしんたい

「カリオストロが
えっちな実験したいって
言ったら
いつでもいいぞも
付き合つてあげるんだよ☆
簡単でいい!」

「ネネ...」

ジグ
キョ
キョ
ドク
ドク
ドク
ドク

「童貞卒業させてやったので
文句はな〜と〜うらやまかな?
あらあら〜!」

「う、うん、文句ならです
ら〜と〜と〜と〜と〜と
なんでもござです」

「よしよし
素直に調教される
団長さんのこと
カリオストロは
だいすきだよ☆」

「はら・・・」

あらあら
またおまんこ
またおまんこ
しかも...

うっ
うっ
うっ

キョ!
キョ!
キョ!
キョ!
キョ!
キョ!



「ワッ
おちんぼ
かわい〜」

「それじゃあ団長さん☆
今日はカリオストロの手コキで
何回せーし射精せるか
研究させてね」

「あッ・・・
ところでカリオストロ
さつき飲まされた
変な薬ってなんだったの?」

「えへっ☆
そんなこと
気にしなくていいよ
団長さん☆」

「えっ?」

それより

カリオストロの
手コキはどう?
気持ちいでしょう?」

「う、うん:」

カリオストロの手
あつたかいし
やわらかいし
すぐくまわならん」

カリオストロの
息...♡
あつたかいし
やわらかいし
すぐくまわならん

「ふふ、団長さんってば
すぐく気持ちよさそうな
顔しちゃって
かわいいな☆
いっぱいシロミンロって
あげるからね
団長さん!」

↑↑
↑↑
↑↑



あは

さうさう
だま

「あはあつ!!
もう団長さんの先っちょ
濡れて来ちゃったよ?
ちよつと擦っただけなのに
こんなに我慢汁垂らして...
もう団長さんはえっちなあ

「だ、だつて気持ちよくて
勝手に出てきたやうなんだよ

「そんなにいいの?
カリオストロの手で
こーやって激しく
シコシコされるのが
涎垂れちゃうくらい
に気持ちいいの?」

「あつ! だ、だめ
カリオストロ
そんなに激しく
したらだめだつて
あつ、ああつ!」

あつ



ん

あーあ〜♡

プチャプチャウ
プチャウプチャウ

「ガ、カリオストロ
さあのでいでいよ

そんなに強く握っちゃうとあ
・・だめだつて」

「あらあら、ぶいぶいよ
出てくよ

このまま気持ちよくなつて
真っ白なザーメンも
いっぱい射精するわ团长さん☆」

「あつ、あつ!! も、もう
射精ちゃう
カリツ、カリオストロ!
も、もう我慢できないよ!」

せいかい
なぞ
FOT
ちんぽ

「ふふ

必死そうな顔…

团长さん?

我慢しないで

カリオストロの顔に

いっぱい

ザーメンかけて

いいんだよ?」

「あー!! ああ!!

射精の! イク!!」

ズんっ

あつ、あつ!!





「ああああー！」

射精ちやったあー！

カリオストロの顔に

いっぱいザーメン

射精ちやったあー！」

「まじっ、うー！」

すぐいじまら...

団長のザーメン

濃厚きよだん！」

团长のザーメン

まっ

まっ

はっ

ピンポン

んっ

アハッ

アハッ

アハッ

アハッ

アハッ

アハッ



「アゲアゲ」

団長さんの
ゲーム、カリオストロの
かまぼこは、うめえ

はっ
はっ

団長さんの
かまぼこ、うめえ

うん

「キビビ・・・
まずは二回目だね団長さん☆
射精した回数を
お腹に書いておくらねばねね」

「はあ・・・はあ・・・
え？ カリオストロ？」

「でも団長さん
最初からごんなに
射精してたらもたないよ？
これから何発も
カリオストロの手でザーメン
出してもらうんだから」

カリオストロにD
ゲームかまぼこ...
かまぼこはうめえ

ド
ボ
ゴ
ビ
ユ

へっへっへっ

あーい
んーい

ぬるぬる
ぽろぽろ

「さ、団長さん
またシロシロするから
がんばって射精するんだよ」

「ま、まって
今イッたばっからだから
敏感になってて
いまシロられたら
またすぐあっ、あっ、あっ……」

「わあ、団長さんのおちんぽ
また先っぽが膨らんできたよ？
射精ちゃうんだね？
またカリオストロの
可愛い顔にザーメンゴ
しちゃうんだね」

「あ、カリオストロ
ごめん！」

射精の……

射精の……

びん

グチャ

ズビ

グチャ

グチャ

グチャ

んー

んー

あーい
あーい



「団長さん！」

それじゃ休まず

三回目シノココロてびっかマ」

「フワレんがで
トッたげっかで
ボンヤンにがらん
なつてやがるん

「カリオストロまって
ほんといま駄目だつて」

「駄目じゃないよ？」

団長さんこそ

カリオストロの言うことは

聞かなきゃ駄目なんだよ☆」

ニナへ

んっ

ほあ

まっまっ
だっだっ
のっのっ

「ふんふんふん...」
「ふんふんふん...」

うんっ
うんっ

ム
ム
ム

ビッ
ン



■次の日

「あの、カリオストロ？」

どうして僕は

足でオニオされて「NoGm」

「フムフムフム」

好きなんだら？

可愛い女の子に

こうくわいされておれよGがわる

……く……!!

あ……う……う……

「ほら、今日も

世界で一番可愛いオレ様が

このチンポを

気持ちよくさせてやるよ

ふふ、足でくわいてなあー」

「あっ、あー！

カリオストロのソックスが

擦れて、はあ！はあ！

うううー」

「どうだ？ 気持ちいいだろ？」

たっぷりとオレ様の足の感触を

味わうがいいかい」

しゅっ♡
にゅっ♡
にゅっ♡
にゅっ♡

ふっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡

しゅっ♡ しゅっ♡ しゅっ♡
にゅっ♡ にゅっ♡ にゅっ♡
にゅっ♡ にゅっ♡

「いっへん……」

「ガクガク！」

「射精てる!!」

「射精てるっ!!」

「団長のザーメンが」

「オレ様の足いっばい」

「かかっているぞ!!」

「おはあ……」

「……ふう」

「いっばいカリオストロの足で」

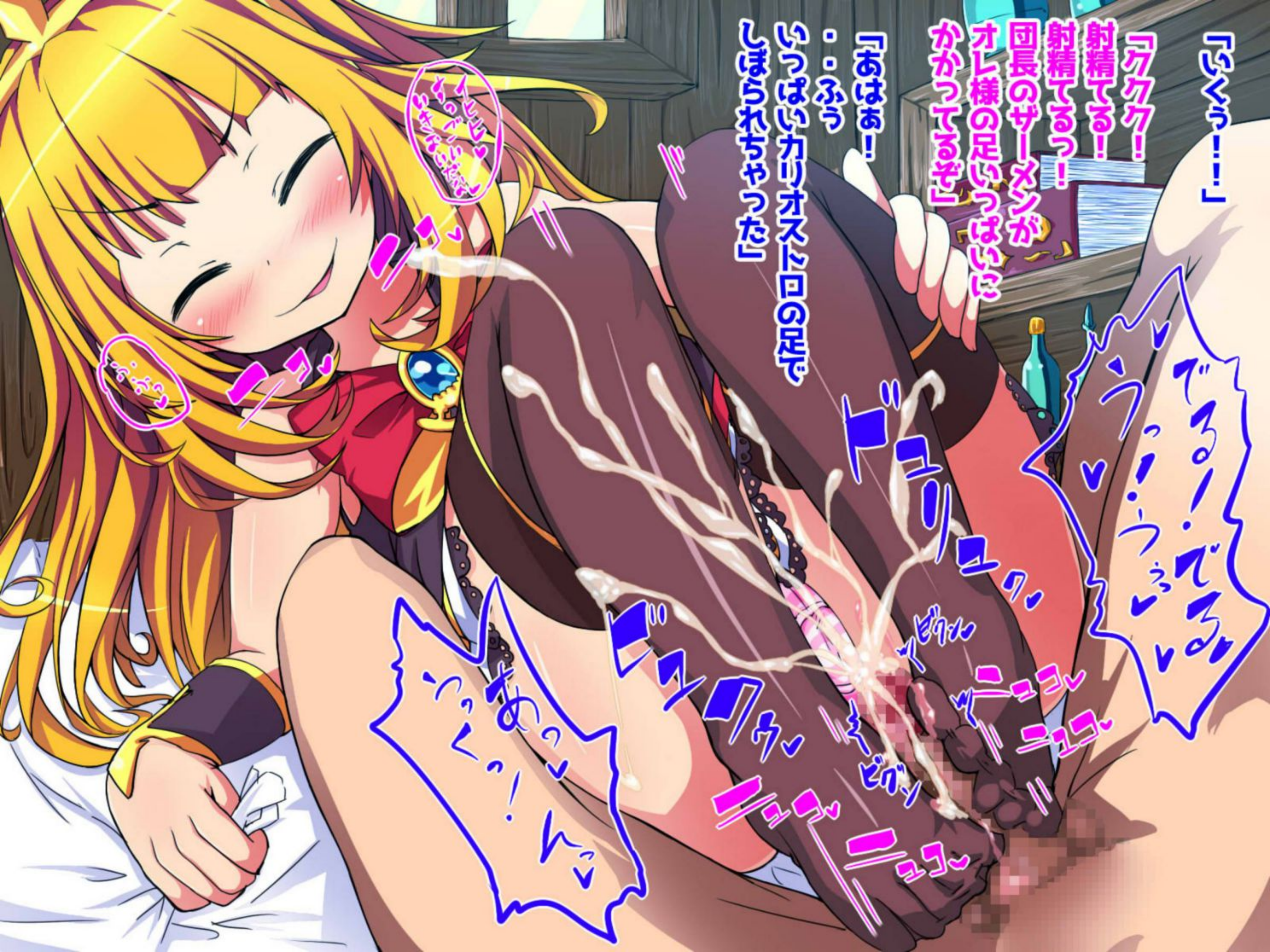
「しぼられちゃった」

「……」

「……」

「……」

「……」



「おや、よんだ団舞？
おらっひんてい
気持ちよかったんだもん。」

「は、はい
カリオストロの足で
してらねんの
すびへ気持ちよかったぞわ」

はあ〜
ふふっ

カリオストロの
ソックス
よ...おかし
なやつだ。

「よしよし、素直だな
お願いするんなら
もう二度
イかせてやってもらいなさるべ。」

「あ、おながいごまち」

はあ
はあ

ふん

ふん
ふん



「も〜団長さんったらー!

カリオストロの事

大好きなんだから〜

そんな風に思われたら

カリオストロのあそこも

濡れてきちやうよ!!!

「はあ...はあ...」

カ、カリオストロのあそこ...」

「ふふ、しょうがないから

もつと足で

シコシコしてあげるね☆」

カ...カリオストロの
お汁、あふれる...
ゴク...

ヤバ...
かわいい...
カリオストロ
かわいい...

かわいい...
かわいい...



「あつー！ あつー！

気持ちいい！

カリオストロ！

気持ちいいよー！」

「すむら、団長さんのまはさんぽ

さつきよりも硬くなつてよ。...

こんなの足で触つてたなら

どきどきしてきまぢやうよま」

あつーあつー
気持ちいいよー
あつーあつー

またー
またー
のびんせーたあ

バースト
あつーあつー
あつーあつー

「あつ、また射精る！

またカリオストロの足

僕の濃いザーメンで

汚しちゃうよー！」

「いいよー！ 団長さん！

もう一回

びゅくびゅくして

団長さんの男の子汁

射精しちゃあ！

ほらー！ ほらー！

射精して射精して！」

あつー

あつー

あつー

団長さん
気持ちいいよー

あつー

「はあ・・・でたあ
か、カリオストロ
す、すき、すきい
カリオストロに
エッチなことされるのすき」

「カクカ、**団長**
完全にオレ様の虜に
なってるみたいだな
まあ世界で一番可愛い
オレ様の虜に
なるのなんて当然か」

「はあ・・・はあ・・・
カリオストロお」

どろろ

ざざざ

ぞぼ

びびび

びびび

びびび

びびび

はあ

はあ

はあ

「カリオストロが
ボクのガーター
をみおにあげる」

「カリオストロの
いぼいぼ...」

「はあ...」

「はあ...」

「はあ...」

「はあ...」

「はあ...」



「ふふ、純情でお利口さんな
団長にはご褒美やるよ」

「わわっ

カリオストロ

やわらかい、あつたかい

可愛いし気持ちさらさらー」

「どうだ？」

大好きなカリオストロちゃんに

裸で抱きつかれるのは？

このまま団長のチンポを

オレ様のおまんこで

食べてやるよ」



「うっ、たべ？
そんなことされたら
また気持ちよくなって
すぐに射精しちゃうよー」

「ガクガク、ホラ
もうおちんぽの
先っちょ食べちゃった」

「あ、あついでよあ
亀頭がカリオストロの
おまんこに
飲み込まれてるよ」

にゅるるび
ずよめっ♡

「んっ… ああ…
ふる…」

「うっっ」

団長さんのおちんちん
カリオストロの
オマンコが
ぜんぶ食べちゃった」

「あ、あついでよあ
ちゅぽ、うたぽん…」

「団長さんってば
そんない気持ちなららるん」

おっっおっっ
はいるよよっっ
はいるよよっっ

うっっ
うっっ

うっっ
うっっ
うっっ

おっっおっっ
はいるよよっっ
はいるよよっっ

おっっ

うっっ

おっっ
おっっ

おっっ
おっっ

おっっ
おっっ

おっっ
おっっ

「なら、動いて
もっとオレ様の
カラダの虜にしてやるぜ!」

「あっ! ああっ! ああっ!
カリオストロ!
はげしっ、激しいよあ!
そんなにおまんこ
締め付けたら
気持ちよくなっちゃうよ!」

「どうだ! オレ様のカラダは
さっさと気持ちいいだろ!」

「うっ、うっはあ
カリオストロあ。。」

「分かるんだぜ
もうイキそうなんだろ?
射精しちまいそうなんだろ?
いいぜ? またいつもみたいは
だらしくオレ様の膣内で
ザーメン射精しちまいな!」

「あっ! 射精の!
カリオストロ!
ザーメンクツて
カリオストロの膣内に
いっぱい送るからね!」



「ゲゲゲゲゲゲ」
「射精ゲゲゲゲ」

「ゲゲゲゲ」
射精してる射精してる……
団長のザーメンが
子宮に無理やり
注ぎ込まれてるのが
分かるぜ?」

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

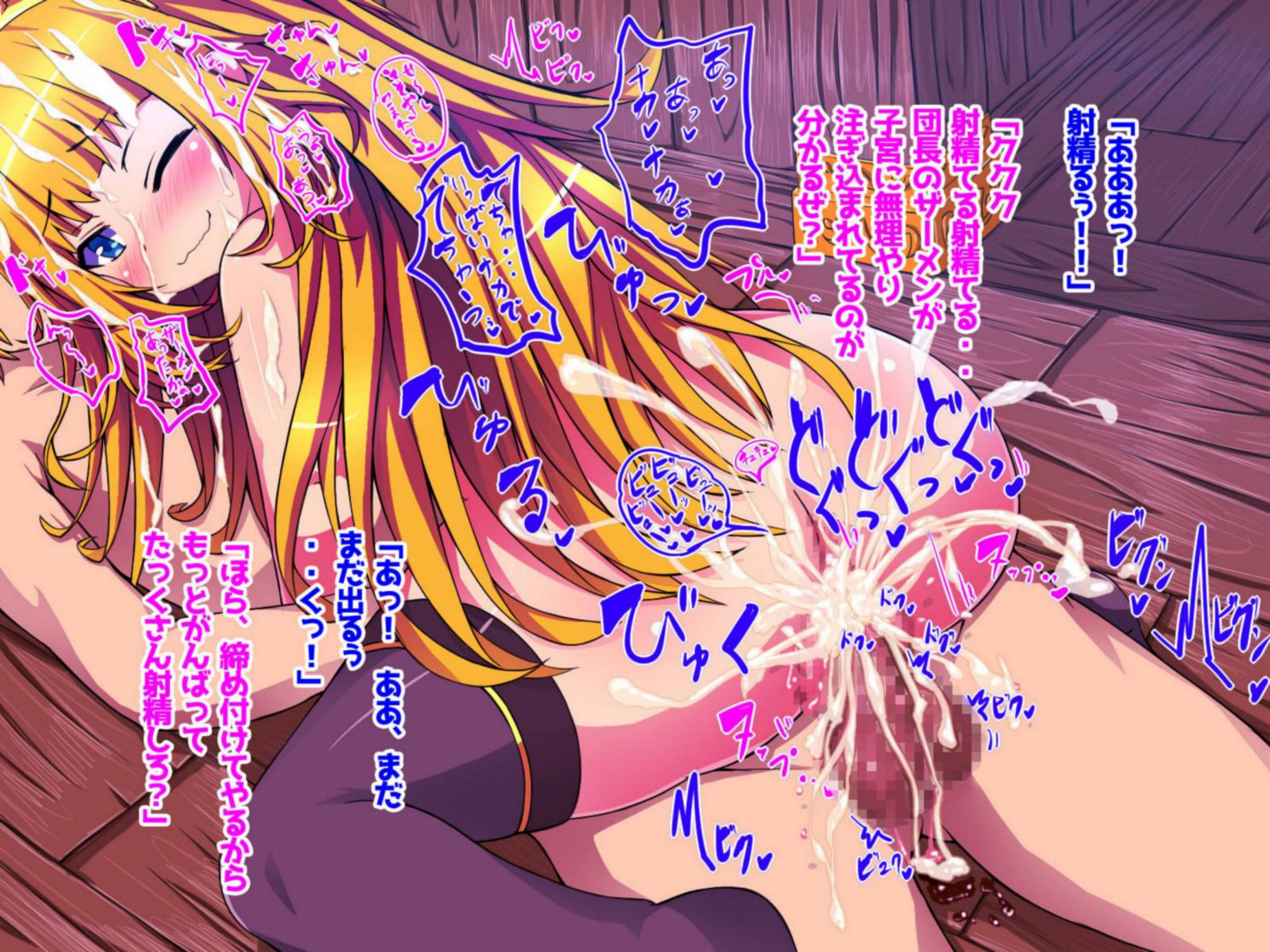
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ
ゲゲゲゲゲゲ

「……」
まだまだ
まだまだ

「……」
「……」
「……」



「はあ……はあ……
射精たあ……
いっぱい射精した」

「はあ、ふう……」

団長またたつぷりと
射精したなあ
そんなに気持ちよかつたか？」

すか……カッ……
すか……カッ……
すか……カッ……

う……

ん……

「が、カリオストロ……
ま、まだおちんぼが……」

「おいおい
まだ硬いままなのか？
しかたねえな
ならもう一度動いて
オレ様無じじゃ
生きられない
カラダにしてやろう」

は……

は……

は……

は……

ド……

ド……

ド……

ド……

ド……

ド……

ド……

「あっ、カリオストロ
カリオストロっ
気持ちいい！
カリオストロに
おまんこされるの
すっぴん気持ちいいまー」

「ふふ、団長が
さつき射精した
ザーメンがぬるぬるして
さつきよりも
気持ちいいだもんね」

「カリオストロが
動くたびに
膈内の精液をかき混ぜる
えっちな音しちゃっばね」

もっもっ
すっぴんっ

うっうっ
オストロっ

ザーメンで
ぐちゃぐちゃに
なってる

「団長の精液まみれの膈内は
また、濃いザーメン
注ぎ込んでみたいんだろ？
我慢しないで
射精しちゃえよ
可愛い可愛いカリオストロの
膈内でな！
ほらほら！」

「うっ、あっ！ また！
また射精ちゃう！
またカリオストロに
種付けしちゃうよ！」

おっ
ほらほら



「はあ・・・はあ・・・」

「だ、団長さん？」

「気持ちよかった？」

カリオストロ

「上手にえつち出来たかな？」

「はい

最高でした」

「団長さん

満足してもらえてよかった☆」

まだおちろぽ
びくびく
しんがら

カーレー
おちろぽ
とちね
団長さん

カーレー
おちろぽ
とちね
団長さん

「もうカリオストロの言ってる
何でも聞く
カリオストロ可愛すぎ」
「もう団長さんったら
そんな当たり前のこと
いまさら言わないでよね」

おちろぽ
とちね

はーっ

ふうっ

はーっ

はーっ

トロ...

たぐ

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

おちろぽ
とちね

「うう、カリオストロ
好きだよお」

「あはっ☆
もう団長さんったら
しょうがないな
はい、団長さんのために
トロトロにしておいた
おまんこだよ
ここいっぱい
びゅーびゅーって
精液流し込もうね」

目もつばばっ
ハッジャグ
おまんこ

デニム

パイパイっ
チンポおしりっ
おまんこ

ふい

「はあ、はあ...
カリオストロ、挿入するよ
もう僕のおちんぼ
カリオストロのおまんこに
挿入れちやうよ？」

おまんこ
おまんこ
カリオストロ

うっうっ
うっうっ
カリオストロ

うっうっ
うっうっ
うっうっ



「あー！あー！で、射精しちゃ

あー！あー！」

「んっ！あっ！

ちよ、ちよっと

おいコラ！

何勝手に射精してるんだバカ！

まだ挿入れたばっかだからが」

あー！あー！
バカバカバカバカ

んっ！んっ！
んっ！んっ！

だめ！だめ！
せーせー！
せーせー！

「あーあー！あーあー！
精液止まんないよ
ぐさぬぐさぬぐ
らっぴらっぴらっ

「……んっ……んっ……」

んっ！んっ！
んっ！んっ！

んっ！んっ！
んっ！んっ！
んっ！んっ！
んっ！んっ！

「分かったら動くんだよ」

団長♡」

「うっ！んっ！

はあはあ！

カリオストロ！

カリオストロあー！」

「ふっ、んあー！あんてい♡

♡、こないだまでドレーター

だうたくせい♡

いしどて突きやがって♡。」「

「はあ！ はあ！ カリオストロ！

かわいい！ 僕のおちんぼで

感じてるカリオストロ

かわいいよ！」

「みあ♡ や、やばら。...

団長のおちんぼで

瞳内の奥ぐらぐらおねの

気持ちよくて

イっちまいそうだ

流石オレ様作ったカラダ...

感度も良好だな♡」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「ふうええ……団長さんの
おちんぼザーメンで
カリオストロ
イカされちやっただよあ」

「わあ……カリオストロのおまんこ
また僕のザーメンまみれになってる」

「団長さん、カリオストロ
もーっと団長さんのおちんぼで
気持ちよくなりなりたいな☆」

「カリオストロの言うことは
何でも聞くよ
またもう一回動くなー」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「はあ……ごめん
た、たくさん射精ちやっただよ
カリオストロ……」

「あああ！ ふあああ！」

団長さんっ！ っんっっ！

団長さんっ！

団長さんのおちんぼ

カリオストロのおなかの奥

こっこっんって

苛めてるよ！」

「艦内あ！ 亀頭ご絡めんすト

はあ！ はあ！」

カリオストロの艦内に

チンポ押し込むの

すっく振替やうらー！」

「あんっ♡！ ちんぽ♡！」

団長さん！ きまむらー！

カリオストロあー！

また団長さんの

溜め込んだザーメン

注がれていっばい

気持ちよくなりたならあー！」

「うん！ っっっ射撃やあー！」

カリオストロの

かわいいおまんこ

僕のザーメンでまだっっっ射撃やあー！」

あーっ

うっくたあーっ
せーっしっかっ
あーっあーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



「はあ...はあ...」

団長...さん♡」

「カリオストロ...

も、もう射撃なら」

「あごぎぬ!

「おまじない!おまじない!おまじない!」

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

はあ...はあ...はあ...

「おー」

「ない言ってるがNan。」

「Nan。」

「オレ様はまだまだ」

「満足してならんぞ。」

「勝手に殺せろわんかNan?どうやなー」

「ど、どき、どき……」

「おそろいだらうぜ」

「あー」

「壁内はいらしてはNan?ポは

そうは言ってるならみたらだぜ?」

ギンギンに

おっ勃つてはNan?やなー」

「ええ……」

「つたく……団長はまだまだ

調教が足りてねーみたいだな

夜は長いんだ……」

「……」

「んむむむむ……！」

その後も僕は
カリオストロが
満足する明朝まで
むちゃくちゃえつちな調教を
されたのだった。

そしてこれから……

「ドーターな団長さんを
カリオストロがえつちじに調教してあげるね☆」





ありがとうございました!

母

ドーターな団長さんを
カリオストロがえっちに
調教してあげるね☆

テガラユウキ

童貞な団長さんをカリオストロがえっちに調教
するロリオネ×シヨタ系CG集
セリア付きエッチCG集
基本7枚 60P

R18

For
Adults
Only